

# 豆酛の里ロードレース大会

三月十四日(日)、対馬の春のイベントに定着した「第十七回豆酛の里ロードレース大会」が開催されました。コースは豆酛小学校から尾崎山(豆酛崎)を折り返す約8kmで、参加者全員が同じコースを走る大会です。レースは歩いてでも出場できることや参加者全員に賞品があるなど、誰でも手軽に参加できることから、毎年多くの参加者でにぎわいます。今年は五百七十七名の参加がありました。今年も参加者全員が見事に完走。中にはみかんを抱えてゴールする選手やベビーカーを押して赤ちゃんと一緒にゴールする選手もいて、ゴール付近は歓声や爆笑が起こっていました。

レース終了後、参加者が楽しみにしていた飛び賞などの贈呈式が行われ、思いもかけない賞品に参加者は大喜びでした。賞品を手にした参加者は、次回もぜひ参加したいと早くも来年のレースを楽しみにして会場をあとにしました。

## 第17回豆酛の里ロードレース大会各部門順位一覧表

距離 8 km( 規定時間 2 時間以内)

順位	総合部門氏名	タイム	順位	幼児部門氏名	タイム
1	日高 善治	27分36秒	1	長瀬 智彦	52分50秒
2	佐々木隆行	27分54秒	2	平片 皇輝	56分45秒
3	瀧川 大和	28分26秒	3	島居 邦哉	1時間06分21秒
順位	小学校低学年(女子)	タイム	順位	小学校低学年(男子)	タイム
1	井川 祐香	38分38秒	1	早田 太一	39分09秒
2	中村 愛梨	42分50秒	2	中野 真吾	39分10秒
3	阿比留 瞳	45分36秒	3	糸瀬 大貴	39分19秒
順位	小学校高学年(女子)	タイム	順位	小学校高学年(男子)	タイム
1	郷 知子	33分02秒	1	郷 貴徳	32分07秒
2	井川 幸美	38分36秒	2	上野 雄平	33分11秒
3	沖中 早苗	39分07秒	3	阿比留明久	34分54秒
順位	中学校(女子)	タイム	順位	中学校(男子)	タイム
1	小島 愛里	44分38秒	1	瀧川 大和	28分26秒
2	浪花 和代	52分11秒	2	川上 将知	29分37秒
3	朝妻 葉月	52分12秒	3	立石 泰之	29分55秒
順位	一般(女子)	タイム	順位	一般(男子)	タイム
1	日高 政枝	41分51秒	1	日高 善治	27分36秒
2	阿比留たかよ	51分24秒	2	佐々木隆行	27分54秒
3	小田 志美	52分11秒	3	神崎 良輔	29分56秒
最年長出場者		年齢	最遠来出場者		住所
松原香津女		67	国本 直美		諫早市
三浦 守人		67			

参加出場者：577名(全員完走)

スタート：午前11時

コース：豆酛小(体育館前県道東側)～旧小学校～

美女塚線～尾崎山(広場駐車場)折返し～豆酛小学校ゴール



一斉にスタート



原木もらったぞ～



ベビーカーでのんびりと



何が入っているかな?

## 交流事業シンポジウム

三月七日(日)、上対馬総合センターで「びっくり対馬発見！交流事業シンポジウム」が、上対馬町商工会青年部主催、(株)リクルート九州支社地域活性部の企画運営で開催されました。

上対馬町商工会長の開会あいさつのおと、梅原デザイン事務所の梅原真さん、ヒーリングストーン代表の杉本錬堂さんの基調講演が行われました。

梅原さんは、スクリーンを使い、今までの実績などわかりやすく説明されました。その中で、「地域にあるものに少しでも手を加えうまく利用する。」「また、観光客にこびを売らず、自分なりの考えを持つことが、交流事業だ。」「人と人は違う視点で物を見て価値観を高めていくことについて講演されました。

杉本さんは、「祖父母、父母、子供たちと3世代別々の旅行の目的や楽しみがあるので、それに合わせたプランを考え料金設定をいくつか用意しておくこと。」「また、その問い合わせ先を明確にし、窓口を



一つにしておくこと。」「など具体的に説明されました。

その後、休憩を挟み、コーディネーターを(株)リクルート九州支社の井出修身さんが務め、パネラーに基調講演の梅原さん、杉本さんのほか、中村法道対馬支庁長、真崎龍介上対馬町商工会副会長、小宮一巳上対馬町商工会青年部長によるパネルディスカッションが行われ、来場者の中からも次々と質問が出るなど活発な意見交換がおこなわれました。



## 「福祉の里」に

### トイレ完成

全国自治宝くじの普及広報事業のコミュニケーション助成事業を利用して、豊玉町仁位の福祉の里ゲートボール場横に公衆トイレが完成しました。事業費五、八七五、八〇〇円(うち助成額は二、五〇〇、〇〇〇円)で男性用二基、女性用二基が完備されています。



## 新たな体験型観光

マグロ養殖体験

三月十日、養殖マグロ「ト口の華」生産者協業体を中心になって、「ト口の華」の養殖を体験する体験型観光が始まりました。

これは「第一次産業と観光の融合」の試みとして行われたもので、この日は、長崎や福岡から訪れた観光客十九名が参加し、船で餌付けを体験しました。

協業体では、これまでも「ト口の華」の解体ショーや試食などを行い、ブランド魚としての定着、PRに努めて

きました。今回の養殖体験は観光資源としても活用を促進していくものです。

この養殖体験は、どなたでも体験することができます。詳しくは事務局のある美津島町漁業協同組合尾崎支所にお問い合わせ下さい。

〇九二〇 五三 一三一一

